

# 大会宣言

新型コロナウイルスが、季節性インフルエンザと同様の第5類に分類されましたが、私たちの日常は戻ってきたでしょうか。

新型コロナウイルスは、日本社会におけるさまざまな不合理・不条理、脆弱さを浮き彫りにしました。シフト制の労働者の休業手当の不支給が直ちに違法とされず、フリーランスに対するセーフティーネットの欠如も明らかになりました。保健所や医療現場のひっ迫も顕著でした。ところが、コロナ後になっても、その多くは存在しないかのように置き去りにされ、手つかずのままです。

光熱費・食品など生活に影響を及ぼす物価が上昇しています。「管理春闘」による賃上げは、ほとんどが大手企業に留まり、かつ、物価の上昇に追い付いていません。岸田政権が引き上げる力を入れた最低賃金は、加重平均で1000円を上回ることで調整に入りましたが、900円に満たない地域も想定されまだまだ不十分と言わざるを得ません。格差は広がり、将来に展望を見いだせないまま働いている人は少なくありません。

昨年参議院議員選挙、今年統一地方選・衆議院の補選の結果を見ると、政治の右傾化が著しく進んでいます。ロシアによるウクライナ軍事侵攻は、依然として終息の目処が立たない中、日本国内でも軍事増税や武器の輸出が進められるなど、戦争が着実に私たちの生活に忍び寄っています。

日本企業全体の中で中小企業が占める割合は99.7%、就業者は68.7%、非正規労働者は36.9%に達すると言われていています。雇用に寄らない働かせ方も広がりました。中小企業の労働運動が弱まっている地域も増え、その結果、日本の労働運動全体の弱体化につながっています。非正規労働者の組織化は必ずしも進んでおらず、フリーランスに至っては労働組合から遠い存在となっているのが現状です。

今まさに、労働組合がその力を発揮するときです。働く現場に足を運び・働く者の声を聴き・ともに闘う、労働組合としてのひとつひとつの活動の実践を積み重ねていくことが働く者の「希望」となり、働く者が「団結」することで社会を変える原動力が生まれていきます。

引き続き大同団結を進め、1万人の全国ユニオンを目指し、力強く、着実に歩みを進め、明るく・激しく・楽しい運動を展開していきましょう。

以上、宣言する。

2023年7月29日

全国ユニオン第22回 定期大会